バケツイネでできちゃった！

ワラ30本の正月飾り

まとめ　編集部
協力　東京・小金井市『田んぼの時間』

ワラ、米、ヌカ◆、モミガラ……
イネ刈りで収穫できるのは、
お米だけじゃない！
バケツイネでもじゅうぶんとれる
たった30本のワラでできちゃう
オリジナル正月飾りをつくってみよう

つくる人
田んぼの時間こども隊員

内田 大智くん（10歳）

内田 光輝くん（6歳）

小峰 結ちゃん（12歳）

小金井市民協議会　田んぼの時間
東京学芸大学の敷地内にある遊休田で、土づくりや代かきから始まる農作業のほか、生きもの調査やワラの民具づくりなど、田んぼを舞台にさまざまな活動を展開中。代表は瀧本広子さん。

教えてくれる人

瀧本広子さん　薮本やすえさん

ワラ細工を始める前に

これが重要！

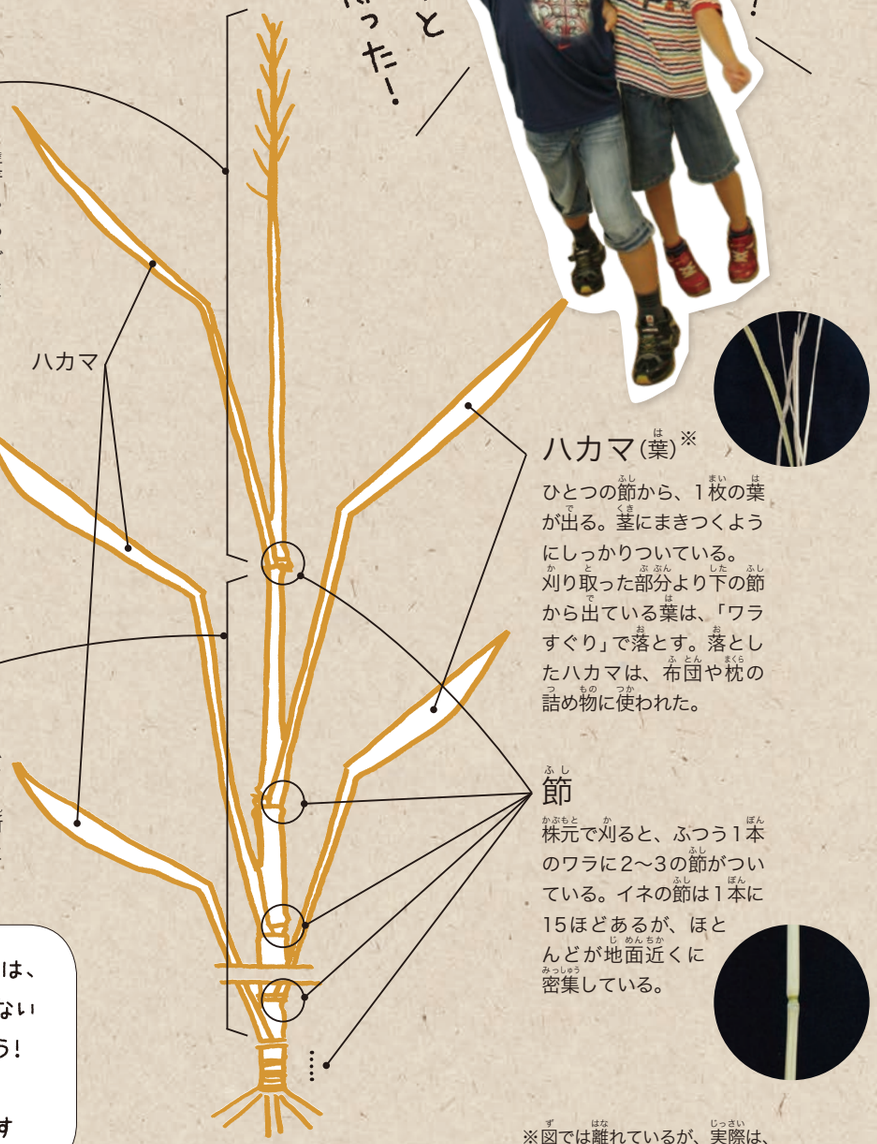
さあ正月飾りを編むぞ～！　と、腕まくりをしたキミ。脱穀◆したあとのワラ束が手元にあれば、ちょっと手にとってみてほしい。なんだかぼさぼさしているし、このままでは硬くて編みにくそうだ。

じつはワラ細工をするときは、脱穀後のワラをそのままの状態では使わない。細工に向いた部分をより分け、ワラの繊維をほぐしてやわらかくするという、下準備が必要だ。

かっこいいの、つくるぞ～！

ちょっと待った！

ワラの構造



ミゴ（シベともいう）

モミがついている部分（茎を含めないこともある）。硬くて編みにくいので、あらかじめ抜いておく（ミゴ抜き）。ミゴをつけたまま編むワラ細工もある。

ミゴを束ねてつくった、卓上ほうき

稈（茎）

葉が巻きついているのでどこが茎かわかりにくいが、節がついているのが茎。断面はほぼ円形で、曲がりにくい構造になっている。

ハカマ（葉）※

ひとつの節から、1枚の葉が出る。茎にまきつくようにしっかりついている。刈り取った部分より下の節から出ている葉は、「ワラすぐり」で落とす。落としたハカマは、布団や枕の詰め物に使われた。

節

株元で刈ると、ふつう1本のワラに2～3の節がついている。イネの節は1本に15ほどあるが、ほとんどが地面近くに密集している。

※図では離れているが、実際は、稈に巻きつくようについている

イネ刈り、脱穀したあとは、風通しがよく日のあたらない場所に干しておきましょう！
日にあたると、ワラが白っぽく変色してしまいます

◆マークは86ページに用語解説あり